



## 2023年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年4月14日

上場会社名 株式会社アドテック プラズマ テクノロジー  
コード番号 6668 URL <https://www.adtec-rf.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 秀法

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 坂谷 和宏

TEL 084-945-1359

四半期報告書提出予定日 2023年4月14日

配当支払開始予定日

2023年4月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年8月期第2四半期の連結業績(2022年9月1日～2023年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	5,867	1.0	939	24.0	810	37.5	593	37.3
2022年8月期第2四半期	5,809	60.4	1,236	178.4	1,298	169.9	945	165.8

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 511百万円 (49.9%) 2022年8月期第2四半期 1,022百万円 (237.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	69.14	
2022年8月期第2四半期	110.20	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期第2四半期	23,123	9,565	41.4	1,114.20
2022年8月期	20,833	9,155	43.9	1,066.53

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 9,563百万円 2022年8月期 9,146百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期		6.00		8.00	14.00
2023年8月期		8.00			
2023年8月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	0.5	1,900	30.5	1,700	44.3	1,200	44.8	139.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年4月14日)公表いたしました「第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期2Q	8,586,000 株	2022年8月期	8,586,000 株
期末自己株式数	2023年8月期2Q	2,804 株	2022年8月期	9,861 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期2Q	8,576,875 株	2022年8月期2Q	8,578,486 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不安定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載していましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	12
(1) 受注実績	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動正常化に向けた動きが見られたものの、ウクライナ情勢による資源・エネルギー価格の高騰、インフレリスクに対応した欧米諸国での政策金利の引き上げや急激な為替変動等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、スマートフォン・パソコン等の需要が減少したことにより半導体の在庫調整の動きが見られ、また米国の中国に対する先端半導体関連装置等に対する輸出が規制されたことに伴い中国向け輸出は減少、日本及びオランダも対中輸出規制への参加に基本合意し、その影響は拡大していく方向で推移いたしました。

当社等においては、対中輸出規制等による半導体業界の調整に伴い受注環境が急速に悪化いたしました。獲得している受注対応のため、引き続き部材確保に注力したものの部材納品遅延は解消できず生産量の引き上げには至りませんでした。なお、資源・エネルギー価格の高騰等を受けて製造原価等のコストが上昇したことにより、売上は堅調に推移したものの、利益は低調に推移いたしました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、シリコンウエハ引揚用装置向け電源の出荷等が安定して行われたことにより、売上・利益は堅調に推移するとともに、これまで取り組んでまいりました一般産業向け製品の受注を獲得することができました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,867百万円（前年同期比1.0%増加）、営業利益939百万円（前年同期比24.0%減少）、経常利益810百万円（前年同期比37.5%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益593百万円（前年同期比37.3%減少）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、売上高5,418百万円（前年同期比0.7%減少）、営業利益885百万円（前年同期比26.7%減少）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、売上高449百万円（前年同期比27.9%増加）、営業利益25百万円（前年同期は営業損失16百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

単位：百万円

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上高	5,809		5,867	
売上総利益	2,508		2,341	
営業利益	1,236		939	
経常利益	1,298		810	
親会社株主に帰属する四半期純利益	945		593	

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

単位：百万円

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
半導体・液晶関連事業（当社等）	5,458	1,208	5,418	885
研究機関・大学関連事業（IDX）	351	△16	449	25
合計	5,809	1,191	5,867	910

(注) 1. 売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。

2. 営業利益は、各セグメントの営業利益又は営業損失（△）を表しております。

(注) 文中表記について

(当社等)

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.、ADTEC Plasma Technology Korea Co., Ltd.、ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd.、ADTEC Plasma Technology China Ltd.及びAdtec Healthcare Limitedを表しております。

(IDX)

株式会社IDXを表しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は23,123百万円であり、前連結会計年度末と比較して2,290百万円増加しております。

これは、現金及び預金の増加(555百万円)、受取手形、売掛金及び契約資産の減少(195百万円)、仕掛品の増加(357百万円)、原材料及び貯蔵品の増加(1,771百万円)、未収入金の減少(239百万円)等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は13,558百万円であり、前連結会計年度末と比較して1,879百万円増加しております。

これは、短期借入金の増加(850百万円)、未払法人税等の減少(619百万円)長期借入金の増加(1,795百万円)等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は9,565百万円であり、前連結会計年度末と比較して410百万円増加しております。

これは、利益剰余金の増加(524百万円)等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して550百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末は4,589百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,701百万円(前年同期は438百万円の使用)となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益810百万円、減価償却費144百万円、売上債権の減少額189百万円等の資金増加要因、棚卸資産の増加額2,313百万円、法人税等の支払額730百万円等の資金減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は242百万円(前年同期は363百万円の使用)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出207百万円、無形固定資産の取得による支出30百万円等の資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は2,634百万円(前年同期は1,335百万円の獲得)となりました。

これは、短期借入金の純増加額850百万円、長期借入れによる収入2,150百万円の資金増加要因、長期借入金の返済による支出223百万円等の資金減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、連結業績予想について見直しを行っております。詳細につきましては、本日(2023年4月14日)公表いたしました「第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,277	4,832
受取手形、売掛金及び契約資産	2,603	2,407
製品	1,233	1,292
仕掛品	2,483	2,841
原材料及び貯蔵品	5,210	6,982
前払費用	86	117
未収入金	1,113	873
その他	15	23
流動資産合計	17,023	19,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,522	1,590
減価償却累計額	△803	△827
建物及び構築物(純額)	719	762
車両運搬具	47	52
減価償却累計額	△43	△37
車両運搬具(純額)	3	14
工具、器具及び備品	1,880	1,918
減価償却累計額	△1,154	△1,221
工具、器具及び備品(純額)	725	697
土地	368	368
使用権資産	202	192
減価償却累計額	△21	△22
使用権資産(純額)	180	169
建設仮勘定	1,378	1,383
有形固定資産合計	3,376	3,395
無形固定資産	211	203
投資その他の資産		
投資有価証券	1	1
繰延税金資産	140	62
その他	94	103
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	221	152
固定資産合計	3,809	3,752
資産合計	20,833	23,123

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	623	609
短期借入金	5,200	6,050
1年内返済予定の長期借入金	420	551
未払金	486	263
未払費用	196	133
未払法人税等	765	146
役員賞与引当金	—	15
その他	45	82
流動負債合計	7,737	7,851
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	3,281	5,076
繰延税金負債	21	26
退職給付に係る負債	35	1
資産除去債務	101	100
その他	1	2
固定負債合計	3,940	5,706
負債合計	11,678	13,558
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	835	835
資本剰余金	717	679
利益剰余金	7,186	7,710
自己株式	△19	△5
株主資本合計	8,719	9,219
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	426	343
その他の包括利益累計額合計	426	343
非支配株主持分	8	2
純資産合計	9,155	9,565
負債純資産合計	20,833	23,123

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	5,809	5,867
売上原価	3,301	3,526
売上総利益	2,508	2,341
販売費及び一般管理費	1,271	1,401
営業利益	1,236	939
営業外収益		
受取利息	0	1
為替差益	77	—
助成金収入	0	1
その他	3	3
営業外収益合計	82	6
営業外費用		
支払利息	17	32
為替差損	—	98
その他	3	4
営業外費用合計	20	135
経常利益	1,298	810
税金等調整前四半期純利益	1,298	810
法人税、住民税及び事業税	375	132
法人税等調整額	△28	82
法人税等合計	347	215
四半期純利益	951	595
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	945	593



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	951	595
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	71	△83
その他の包括利益合計	71	△83
四半期包括利益	1,022	511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,016	509
非支配株主に係る四半期包括利益	5	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,298	810
減価償却費	121	144
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	29	15
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1	△34
株式報酬費用	7	16
受取利息及び受取配当金	△0	△1
支払利息	17	32
為替差損益 (△は益)	△119	249
売上債権の増減額 (△は増加)	△679	189
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,182	△2,313
仕入債務の増減額 (△は減少)	224	△11
その他	70	△36
小計	△212	△939
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△16	△33
法人税等の支払額	△210	△730
営業活動によるキャッシュ・フロー	△438	△1,701
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△4	△4
有形固定資産の取得による支出	△342	△207
無形固定資産の取得による支出	△16	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△363	△242
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250	850
長期借入れによる収入	1,350	2,150
長期借入金の返済による支出	△159	△223
配当金の支払額	△60	△68
自己株式の取得による支出	△44	△27
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,335	2,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	91	△140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	624	550
現金及び現金同等物の期首残高	2,679	4,038
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,304	4,589

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社IDXの株式を非支配株主から追加取得したこと等により、資本剰余金が38百万円減少しております。

その結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が679百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
日本	2,500	351	2,851	—	2,851
アジア地域	1,981	—	1,981	—	1,981
米国	818	—	818	—	818
欧州	156	—	156	—	156
その他	1	—	1	—	1
顧客との契約から生じ る収益	5,458	351	5,809	—	5,809
外部顧客への売上高	5,458	351	5,809	—	5,809
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2	1	3	△3	—
計	5,460	352	5,813	△3	5,809
セグメント利益又は損失 (△)	1,208	△16	1,191	44	1,236

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額44百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
日本	2,477	449	2,926	—	2,926
アジア地域	1,955	—	1,955	—	1,955
米国	796	—	796	—	796
欧州	189	—	189	—	189
顧客との契約から生じ る収益	5,418	449	5,867	—	5,867
外部顧客への売上高	5,418	449	5,867	—	5,867
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1	4	6	△6	—
計	5,420	453	5,874	△6	5,867
セグメント利益	885	25	910	28	939

(注) 1. セグメント利益の調整額28百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

### 3. その他

#### (1) 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)			
	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
半導体・液晶関連事業	4,950	△35.4	9,155	52.1
研究機関・大学関連事業	515	4.3	755	△9.8
合計	5,466	△33.0	9,910	44.5

(注) 金額は、販売価格によっております。